

持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2021 分科会（第 25 期・第 1 回）

議事要旨

1. 日 時： 令和 3 年 6 月 23 日(水) 8:00~10:00
2. 場 所： オンライン開催
3. 出席者： 亀山康子委員長、橋本禪副委員長、高村ゆかり委員、三枝信子委員、田辺新一委員
(事務局) 市川参事官、国際業務担当室員

議題

(1) 役員を選出について

委員長が亀山康子先生、副委員長が橋本禪先生に就任いただくことで一致した。

(2) 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 2021 の開催計画について

① 会議開催内容について

委員長よりコンセプトペーパーに関して説明がなされた。出席者からは生物多様性と気候変動など幅広い分野からの意見が交わされた。委員長は本日出た意見をもとにコンセプトペーパーを修正し、次回の分科会で改定案を提出することで一致した。

開催形態について事務局から説明を行い、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、完全オンラインで2日間開催ということで一致した。完全オンラインという新たな開催形式でどこまで有意義な会議にできるのかという挑戦、交通の障壁を取り払うことへの挑戦ともいえるという意見があった。また、時差の問題で日本時間では深夜になること、国民に対して重要な年に重要なテーマを伝える必要性などを踏まえ、日学の HP にオンデマンドで動画を掲載してほしいという要望が出た。広報の観点から動画には日本語字幕なども載せるべきであるという意見があった。

登壇者の延べ人数は 10 人程度で良いと意見で一致した。

プログラムの時間帯は登壇者の居住地に合わせて検討し、本分科会であげられた登壇者候補のほかに、委員から候補が思い当ればメールで事務局へ連絡することで一致した。

開催日時については、2022 年 1 月 31 日（月）、2 月 1 日（火）で決定した。

「ネットゼロ・エミッションー達成に向けた学術の役割」(Net-zero emission : Role of academia of the achievement) というテーマ案に対して、「サイエンスポリシーインターフェイス」というワードを、全体のテーマか、各日のサブテーマに入れ込むべきという意見があった。

② その他確認事項について

関係省庁から協力を得られないのか、という意見があった。共催機関、後援機関についても意見が交わされ、ネットゼロ・エミッションに関連する学協会や団体に個々に協力いただくほか、分野ごとの学協会の連携帯に協力してもらおうという意見もあった。

以上